

長下肢装具

K A F O



主に体幹や股関節、膝関節の力が弱く、片足立ちをしたときに膝折れ（膝がガクツとしてしまう）などの症状がみられる場合に使用します。麻痺してしまった下肢の筋力を装具で補うことで歩行練習が可能となり、歩行の再建を目指します。立位姿勢が前傾してしまい、まっすぐ立てない方にも非常に有効です。長下肢装具を使用することで、立位練習や歩行練習が行えない方が出来るようになります。



綺麗な姿勢を取れるようになることで本来立位や歩行に必要な筋肉の活動を促し、姿勢改善や立位能力改善、歩行能力向上を促します。障害が重度で今後も歩行が困難と判断された場合の方でも、立位練習を通して荷重を足底からしっかりとかけることで脳への刺激や体幹含めて多くの筋活動が得られることがわかっています。結果として座っている姿勢が良くなって食事が楽に食べることが出来る、椅子に座ることが出来るようになるなどの効果が望めることもあります。



もしも覚醒が悪い方（脳の機能が低下しているために寝てしまっているような状態になっている方）でもセラピストは積極的に長下肢装具での立位練習を行い、刺激を入れることを行っていきます。